

2017年3月期(FY2016)  
第1四半期  
連結決算報告

---



大幸薬品

2016年8月  
大幸薬品株式会社



- 売上高及び利益は対前年同期比減
- 感染管理事業増収の一方、医薬品事業出荷減により減収
- アース製薬との資本業務提携契約発表

# 連結經營成績

# 連結経営成績サマリー

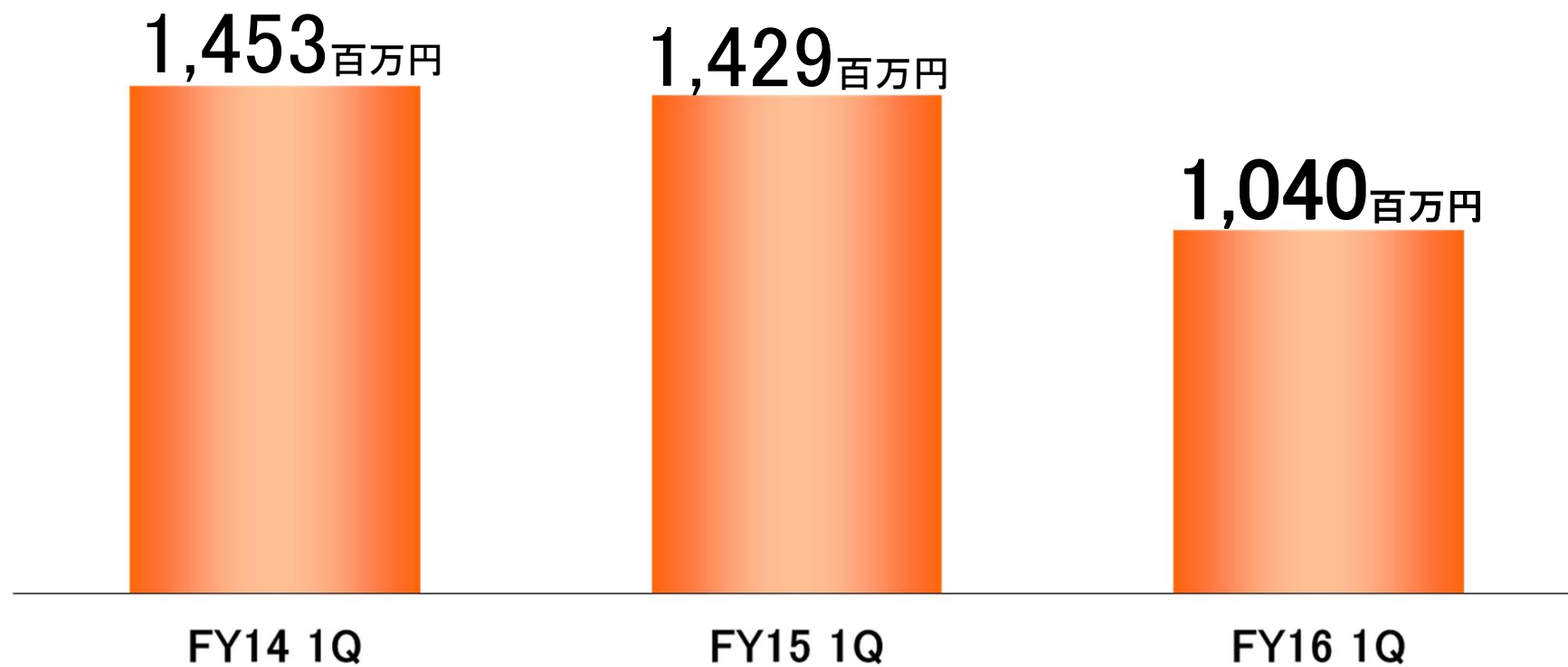
- 医薬品事業：国内、海外共に売上高は対前年同期比減
- 感染管理事業：一般用、業務用共に売上高は対前年同期比増

単位：百万円

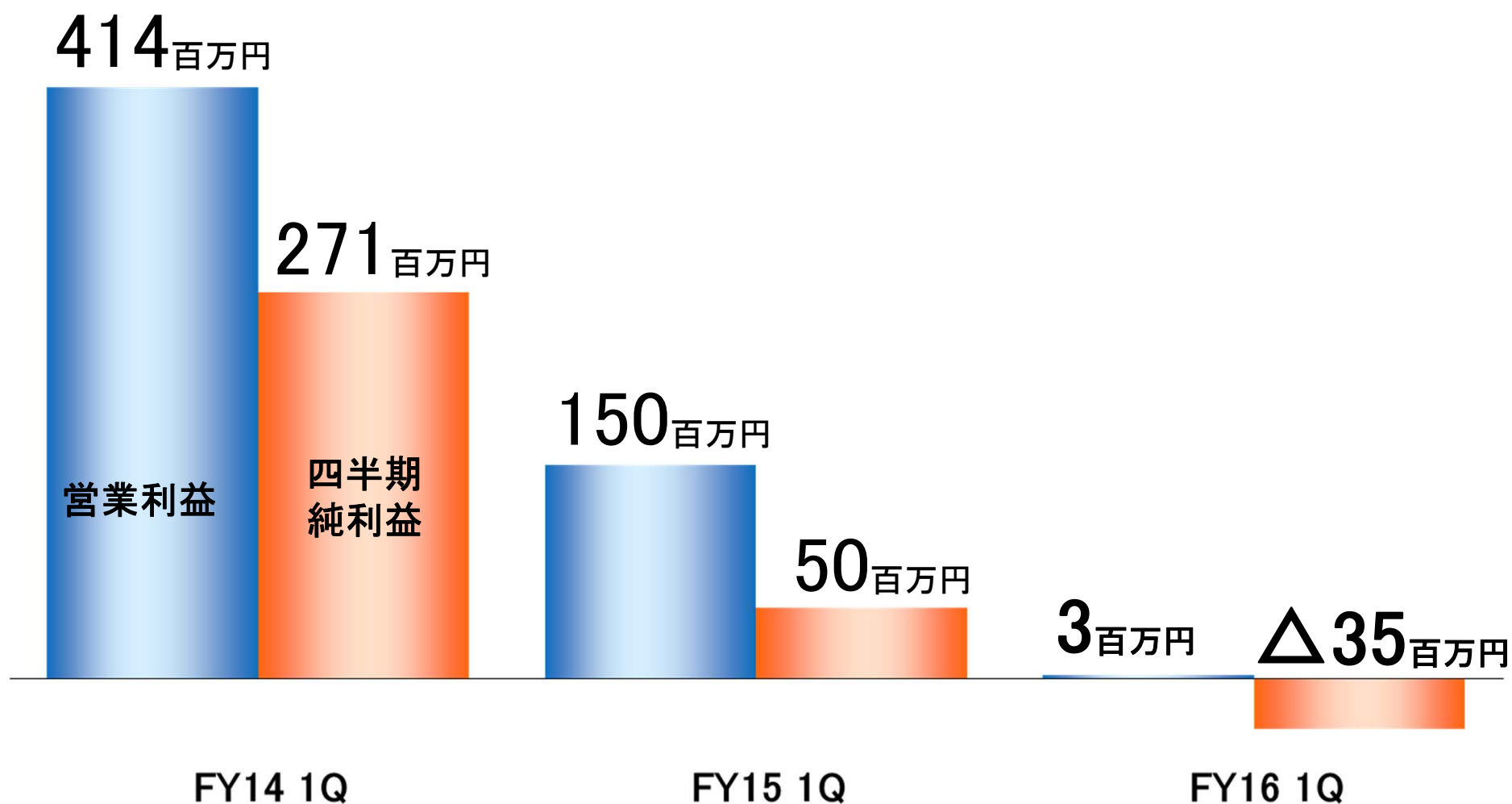
	FY15 1Q	FY16 1Q	増減	増減率	増減要因等
売上高	1,429	1,040	△388	△27.2%	医薬品)対前年同期比473百万円減 感染管理)対前年同期比88百万円増
売上原価(※) (売上高比率)	470 (32.9%)	335 (32.2%)	△134	△28.6%	
売上総利益 (売上高比率)	959 (67.1%)	705 (67.8%)	△254 (0.7P)	△26.5%	医薬品事業の減収により粗利減少
販売費及び 一般管理費	809	701	△107	△13.3%	販売費の減少等
営業利益 (売上高比率)	150 (10.5%)	3 (0.4%)	△146	△97.5%	
経常利益 (売上高比率)	170 (11.9%)	△91 (-)	△262	—	未稼働設備関連費用及び為替差損計上
四半期純利益 (売上高比率)	50 (3.5%)	△35 (-)	△85	—	当1Q:新株予約権戻入益32百万円計上 前1Q:工場移転費用46百万円計上

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

# 連結売上高推移



# 連結営業利益・四半期純利益推移



# 販売費及び一般管理費

## ▶販売費の減少等により対前年同期比減

単位:百万円

	FY15 1Q	売上高 比率	FY16 1Q	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	230	16.1%	140	13.5%	△90	△39.1%	
広告宣伝費	113	7.9%	52	5.1%	△60	△53.2%	医薬品)31百万円減 感染管理)29百万円減
販売促進費	60	4.2%	50	4.9%	△9	△16.1%	
運送費	56	4.0%	36	3.5%	△20	△35.6%	
人件費	307	21.5%	313	30.1%	6	2.1%	
その他経費	271	19.0%	247	23.8%	△23	△8.8%	
研究開発費	64	4.5%	60	5.8%	△3	△5.3%	
支払手数料	66	4.7%	48	4.6%	△18	△27.7%	
計	809	56.6%	701	67.4%	△107	△13.3%	

# 連結財政状態

## ➤ 売上債権及び流動負債の減少

単位:百万円

	FY15 期末	FY16 1Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	7,432	6,660	△772	△10.4%	
現金及び預金	2,996	2,943	△53	△1.8%	
売上債権	2,196	1,567	△629	△28.6%	売上高減少
たな卸資産	1,757	1,871	114	6.5%	
固定資産	8,874	8,798	△76	△0.9%	
資産合計	16,307	15,458	△848	△5.2%	
流動負債	2,007	1,456	△550	△27.4%	未払金及び未払法人税等の減少
仕入債務	239	269	30	12.9%	
固定負債	1,159	1,164	4	0.4%	
純資産	13,139	12,837	△302	△2.3%	配当
負債純資産合計	16,307	15,458	△848	△5.2%	
自己資本比率	80.1%	82.8%			



# 連結キャッシュ・フロー状況

➤ 売上債権減少の一方、未払金の減少、法人税等の支払及び配当等によりキャッシュ減少

単位：百万円

	FY15 1Q	FY16 1Q	主な要因	
営業CF	△830	208	EBITDA 売上債権の減少 未払金の減少 法人税等の支払	111百万円 599百万円 △233百万円 △213百万円
投資CF	△2,042	△200	定期預金の増加	△159百万円
財務CF	△260	△157	配当	△153百万円
現金・同等物換算差額	11	△61		
キャッシュ増減(※1)	△3,122	△210		
キャッシュ期末残高	2,316	2,786		
EBITDA(※2)	204	111	営業利益 減価償却費	3百万円 108百万円

(※1) キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

# セグメント情報

# セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 売上高減少等により利益減少
- 感染管理事業: 売上高増加及び販売費減少により損失幅縮小

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY15 1Q	FY16 1Q	増減率	FY15 1Q	利益率	FY16 1Q	利益率
医薬品事業	1,420	947	△33.3%	627	44.2%	409	43.2%
感染管理事業	1	89	8,287.1%	△202	—	△128	—
その他事業	7	4	△48.8%	△7	—	△6	—
全社(※)	—	—	—	△267	—	△270	—
連結合計	1,429	1,040	△27.2%	150	10.5%	3	0.4%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

# セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 止瀉薬市場の停滞、期首の流通在庫が高水準にあったこと等から減収
- なお、流通在庫は1Q期末で正常化



止露丸



セイロガン糖衣A

(※)その他医薬品



ピシャット錠

## 製品カテゴリー別売上高

単位：百万円

	FY15 1Q	FY16 1Q	増減	増減率
正露丸	471	351	△119	△25.4%
セイロガン糖衣A	482	409	△72	△15.1%
その他(※)	46	23	△22	△48.7%
計	1,000	785	△215	△21.5%

(※) 整腸薬『ラッパ整腸薬BF』、止瀉薬『ピシャット錠』等

## 当社の国内止瀉薬市場シェア

出所：(株)インテージ 調査データ

店頭小売価格ベース	FY15 1Q	FY16 1Q	増減
市場シェア	50.1%	48.0%	△2.1P

# セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 中国市場は輸出に必要なライセンス更新完了を受けて出荷準備中  
(当期中に出荷再開予定)
- 香港市場は出荷時期変更等により対前年同期比減

## 地域別売上高

単位:百万円

	FY15 1Q	FY16 1Q	増減	増減率
中国	98	—	△98	△100.0%
香港	261	125	△135	△51.9%
台湾	50	32	△18	△35.7%
その他(※)	10	3	△6	△64.0%
計	420	162	△258	△61.5%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 一般用製品は出荷増加及び返品減少、業務用製品も出荷増加
- 店頭販売は対前年同期比17%増で好調に推移



## 製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY15 1Q	FY16 1Q	増減	増減率
ゲル剤	△36	20	57	—
液剤	△2	9	11	—
クレベリン発生機(※)	40	59	19	48.5%
計	1	89	88	8,287.1%

(※)低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

## 対象顧客別売上高

単位:百万円

	FY15 1Q	構成比	FY16 1Q	構成比	増減	増減率
一般用	△84	—	△14	—	70	—
業務用	85	—	104	—	18	21.7%
計	1	—	89	—	88	8,287.1%

# 「クレベリン LED」搭載家電一覧

➤ 2016年5月にサーキュレーター2機種を新たに上市

製品写真					
機種名	加湿器	加湿器	空間清浄機	サーキュレーター	サーキュレーター
製造メーカー	ドウシシャ製	ドウシシャ製	アクア/amadana製	ドウシシャ製	ドン・キホーテ PB商品
発売日	2015年11月	2015年11月	2016年1月	2016年5月	2016年5月

# セグメント別事業概況(その他事業)

➤ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

## 製品売上高

単位:百万円

	FY15 1Q	FY16 1Q	増減	増減率
木酢製品等	7	4	△3	△48.8%



# 現在進捗中の新規案件一覧

## < 自社新製品開発 >

	内容	上市時期
	医薬品 新製品(胃腸薬)開発	開発中
	感染管理 クレベリン新バージョン開発	当期中

## < 他社とのアライアンスによる新規事業 >

提携先	内容	上市時期
アース製薬	感染管理 新製品共同開発	開発中
A社	感染管理 ペット系新製品共同開発	当期末～来期初

## < 新規販売チャネル開拓 >

提携先	内容	開始時期
エーエヌディー	感染管理 資本提携(7月)。病院向け既存製品販売	当期中

※現時点では、上記事業による業績の修正はありません。

# アース製薬との資本業務提携契約の発表

## 資本提携



戦略的投資への備えとして活用

## 業務提携

- 製品の研究開発
- 販売促進活動

空間除菌及び消臭市場等の活性化と  
新市場の創出を企図



# 大幸薬品

## ＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。